

国民健康保険税の引上げをやめよ

質問

愛西市の国保加入者は、所得金額のない者が19・6%、所得200万以下が64・9%。滞納は、1千164世帯で5億2千751万円となつている。539世帯に短期保険証が交付されている。

この所得の現状でも、保険料引き上げを強行しても構わないと考えているのか。

市民生活部長

合併してこの5年間、国保会計の実質単年度収支はすべて赤字。国保の税率を見直す時期が来ている。国民健康保

険の運営協議会にどういった方法が市として一番好ましいのか、協議をしたい。

質問

一般会計からの法定外繰入は県平均の38・9%しかない。国保加入者の所得実態、生活実態からすれば、もうこれ以上の引き上げは許されない。一般会計からの繰入額を増やして、国保税の引き上げをしないように強く求めるが。

市民生活部長

一般会計の法定外繰り入れは、他の保険に加入している

方の公平性も欠くという観点から、市の財政部局とも協議しながら、慎重に考えていかなければならない。

質問

市長が、国保ばかりでなく使用料、利用料の見直しも必要だというような答弁をされた。今後、そういう指示をするのか。

市長

保育料、施設の使用料いろいろな面で、見直す状況があれば当然検討していくべきという判断をしている。

質問

医療費の一部負担金の減免制度を利用しやすくする必要がある。弥富市では、この10月1日からその収入の基準を生活保護の基準生活費の140%まで拡大した。愛西市は。

保険年金課長

愛西市も弥富市と同じような状況で設定している。

学童保育の対象を6年生までに

質問

学童保育の対象を6年生まで拡大してほしいのは市民の強い願い。民間任せでなくて、市が責任を持って整備をしていくべきだが。

福祉部長

現在、児童館の部屋数などは4年生以上の学童保育を実施する余裕がないのが現状。高学年の児童は、一般での利用をお願いしたい。民間の方々でお願いできる

所があれば探していきたい。

質問

学童保育の充実とともに、放課後子ども教室も全小学校に広げて、内容の充実も図っていく必要がある。市の拡大の方針はあるのか。

教育部長

管理面、部屋の関係、指導者の確保、条件が整ったところから順次進めていきたい。



永井千年 議員

